



# The Bamboo Shoots

～地方季刊新聞～  
大和高田リスノー都市友好協会 発行  
2012年 秋号

No.157

連絡先：  
大和高田リスノー都市友好協会  
TEL: 0745-22-1101  
http://www.city.yamatotakada.nara.jp/

このバンブーシューツ（筍）が大和高田市とリスノー市の情報交換に役立つ立派な竹に成長しますように

## <大和高田市総合公園にリスノーの庭>



9月28日、第22回「大和高田市植樹祭」が総合公園北エリアで盛大に開催されました。

この公園には、1983年に大和高田市とリスノー市との姉妹都市交流20周年を記念して、リスノー市から送られた種が大きく育ったユーカリの木があります。

大和高田市では、緑の大切さを考え、緑を広めるため、毎年市内各所で記念植樹を行い、「緑豊かな郷土づくり」に取り組んでいます。

今年の記念樹として、ボトルブラシ（和名：ブラシの木）が植えられました。この木はオーストラリア原産で、ボトルを洗うブラシのような長い花を咲かせます。



この日の式典には、リスノー市からの交換学生たちも出席しました。

友好協会からは、来年が姉妹都市交流50周年にあたることから、その友好の証としてカンガルーとコアラの置物、メモリアルプレートを市に寄贈し、市長と共に、交換学生、Virtue夫妻が除幕しました。

これからも記念樹が大きく育つとともに、両市の交流がますます続くようにと、この場所を「リスノーの庭」と名付けられました。

続いて幼稚園児たちが、色とりどりの大きな風船を空高く飛ばしました。大きく育ったユーカリの木にその風船が花のように見えて、とても綺麗でした。



## <リスノー市の子どもたちの絵画展>

リスノー市の子どもたちが描いた絵、約100点が9月末にリスノー市から来た交換学生から、吉田市長に手渡されました。これらの絵は、7月に大和高田市内の子どもたちが描いた絵を、リスノー市長に送ったお礼として、届けられました。

リスノー市の風景や遊び、コアラなどの絵が、明るい色彩で描かれています。5～6歳児によって描かれたこれらの絵は、市内幼稚園、中央公民館や元気ウィークなどの催し会場で展示され、多くの市民が子どもたちの絵を楽しみました。また、大和高田市からリスノー市へ送った絵も、リスノー図書館で展示されました。



# リスモ一から大和高田へ>

9月22日から10月6日までの15日間、3名の高校生とコーディネーターのコーリン夫妻の計5名が大和高田市を訪れました。

昨年は震災の影響で、リスモ一市からの派遣が中止となったため、2年ぶりの来訪となりました。

一行は、広島での平和学習や、市内の小中学校、高田商業高校で、学校生活の体験や、高田の植樹祭に参加をしました。

## ◎今年の交換留学生



Charlotte Teague



Dominique Bryant



Eden Sainty

## ◎滞在中の日程

### ・1日目(9/22 土・祝)

夜 関西空港から大和高田市へ到着

### ・2日目(9/23 日)

ホストファミリーと過ごす



### ・3日目・4日目(9/24 月・9/25 火)

広島



### ・5日目(9/26 水)

市長表敬訪問



明日香村



### ・6日目(9/27 木)

京都



### ・7日目(9/28 金)

大和高田市植樹祭.....大阪



### ・8日目・9日目(9/29 土・9/30 日)

ホストファミリーと過ごす

### ・10日目(10/1 月)

U.S.J

### ・11日目(10/2 火)

高田商業高校訪問



### ・12日目(10/3 水)

奈良



### ・13日目(10/4 木)

浮孔西小学校訪問



片塩中学校剣道部訪問



### ・14日目(10/5 金)

夜 さよならパーティ



### ・15日目(10/6 木)

夕方リムジンバスで関空へ.....帰国



学生の方々に帰国する前に、今回のホームステイについてアンケートにこたえていただきました

### 1. 大和高田市の第一印象は？

- ・とても美しい町で、いつも活気にあふれていて、わくわくする
- ・道路がとても狭くて、道を進もうとすると、とてもやっかいだと思った
- ・多くの人が自転車に乗っていたのに、驚いた。お年寄りさえ、自転車に乗っていた



### 2. 観光して良かった場所・印象に残った場所は？

- ・京都は自然がいっぱいで、本当に美しい町だった。お寺やお店は、とても素敵だった
- ・私が気に入ったのは、明日香、広島と宮島です
- ・ホストファミリーと日本の伝統的な踊りを見に行ったことも良かったし、お寿司や天ぷらも、気に入りました

### 3. 習慣の違いで驚いたことは？

<生活>

- ・家の中でスリッパを履くことは、とても習慣が違っていた。特に畳に上がる時は、スリッパを忘れずに脱がなければなりません
- ・家が密集していることや、町が賑やかなことに、とても驚きました
- ・日本人は、とても礼儀正しくて親切です

<学校>

- ・学校でスリッパを履くことは、興味をそそるものでした。オーストラリアで、常に靴を履いているのとは違った
- ・授業の始まりと終わりに、生徒全員が、先生にお辞儀をすること
- ・生徒の代わりに、先生が教室を行き来していた
- ・学生たちは、学習にとっても熱心だった
- ・私たちに会うために、英語を勉強し、とても熱心に、学生たちが私たちに話しかけてくれた

### 4. ホストファミリーについて

- ・私のホストファミリーが、私に対して丁寧に接してくれ、いろいろ気にかけてくれたことは、とても嬉しくて、心温まるものでした
- ・オーストラリアでの私の生活に興味を持って聞いてくれたり、小旅行の後にはどうだったか、熱心に聞いてくれました
- ・ホストファミリーは、私が楽しく過ごしているかを、常に気にかけてくれていました



今回ホストファミリーを引き受けて下さった方々にも感想をお聞きました。

### 1. 学生を受け入れて戸惑ったことは？

- ・英語があまりできなくて、言葉（言ってること）が理解できないこともあった
- ・食事は何を用意すれば良いか、心配だった
- ・食べ物の好き嫌いが多かった
- ・どこに連れて行ってあげれば喜んでくれるか、悩んだ

### 2. 文化（習慣）の違いを実感したことは？

- ・朝食や夕食の時、品数の多さに驚かれた。オーストラリアでは、もう少し簡素らしい
- ・何事もオープンで、恥ずかしがらずに行動する
- ・あまり時間を気にせずに行動するところ
- ・日本の習慣について、よく勉強してきた

### 3. 一緒に過ごして楽しかったこと、嬉しかったことは？

- ・日本で食べたものは全て好き!! おいしい!! と言ってくれた

- ・日を追うごとに、ジェスチャーや単語だけでも、学生の方がわかろうとしてくれていたし、パソコンなども使って、会話を楽しむことができた
- ・ゲーム、カラオケ、キャッチボールなど、多くのことを一緒にして、どれも喜んでくれたのが、嬉しかった
- ・家には息子しかいないので、一緒にショッピングをして「これどうかな?」という会話ができるのがとても新鮮だった
- ・彼女が、大好きなミートスパゲティを作るために、一緒に買い物に行き、一生懸命作ってくれたのを、家族皆で食べたのが、よかった
- ・日が経つにつれ、日本語を使う頻度も増え、来日以前より、かなり日本に興味を持ってくれた
- ・「また日本にきたい」「次はもっと長く日本に滞在したい」と言ってくれたのが、大変嬉しかった

### 4. また機会があればホストファミリーを したいですか？

- ・機会があればしたいです

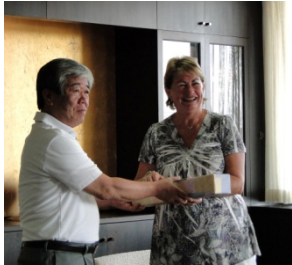
ご協力ありがとうございました。

## <Colleen さんからの手紙>

リックと私は大和高田市に何回も訪れているので、第二の故郷のように思っています。今回は、土曜日の夜に大和高田市に着いたので、私たちは日曜日の朝に散歩に出かけました。ホストファミリーの家を出て 20 分と経たないうちに、ある女性に出会いました。彼女とは、交換学生のプログラムを通して、知り合いになりました。



リズモー市の姉妹都市である大和高田市で、とても居心地良く過ごせることは、素敵なことです。私たちは、大和高田市を訪れるたびに、たくさんの友と交流を深め、本当に楽しく友だちと、お会いさせていただいています。このような交流を、私たちのリズモーからの学生たちが、分かち合えるのは、私たちの誇りであり、これからも彼らの夢を実現させてあげたいと思っています。



### ◎Colleen さんと交換学生との関わり

コーディネーターである Byron Stevens 氏が、地元新聞に大和高田市の交換学生のホストファミリー募集の広告を出してあったのを見て、1992 年に初めて関わりました。私たちの家族は、1992 年に 6 週間、オカノアキさんを受け入れ、このことが大好きになりました。

そして、翌年に彼から私たちに連絡があり、その後、毎年受け入れてきました。

Byron 氏から、ご自身の年齢と体調のために、このプログラムを続けることが難しくなったので、私に交換留学の受け入れ及び派遣の全てを引き受けてくれるよう、申し出がありました。1998 年に私は、正式に交換留学のプログラムを引き継ぎ、日本に行きました。Byron 氏が、この交換留学制度を始められたのですが、私がこのプログラムを引き継ぐべきだと、理解しました。

## <元気ウィーク>



11 月 10 日から 18 日までの 9 日間、大和高田市が主催する「元気ウィーク」が開催され、市内各所で多くのイベントが行われました。この催しは、元気な大和高田市を発信すると共に、街の賑わいづくりのために、7 年前から始められたものです。

元気ウィークの期間中、市内各所では、美術展や音楽会、農産物の品評会及び即売、各種団体の模擬店、フリーマーケット、消防フェスタなどが、行われました。

大和高田・リズモー都市友好協会も、リズモーのことを、より多くの市民に知ってもらうため、今年も「オーストラリア・リズモー物産展」として出店しました。ナッツ類、クッキー、チョコレートやお塩などの食品を販売しました。また、今年はおーストラリア原産の珍しい花を仕入れ、店頭に並べ販売しました。お客様の希望により、その場でフラワーアレンジメントを作って、たいへん好評でした。そして、今年のリズモーからの学生たちが、持ってきてくれた子どもたちの絵も展示し、友好協会の活動の PR も行いました。

